

令和3年度 地域福祉講座～地域のつながりづくり～

「中津市地域福祉ネットワーク協議会 意見交換会」



アイスブレイクの
自己紹介の様子



令和4年3月30日(水)に、地域福祉ネットワーク協議会の方々を対象に意見交換会を行い、40名の参加がありました。今回は、地域福祉ネットワーク協議会についての理解を深めるとともに、日頃の活動について他地区と意見を交わすことで、活動の活性化と横のつながりづくりを目的として開催されました。



今年度は第4次 なかつ地域支え合いプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の策定年度ということもあり、地域福祉ネットワーク協議会の役割や構成団体等にもご紹介しました。

現在、中津市内には7地区に地域福祉ネットワーク協議会があり、日々地域で活動をしています。今回は小楠地区での取り組みを事務局の方々が紹介しました。立ち上げの経緯やメンバー構成、定例会の頻度や事前準備、広報誌、研修会やモデルイベントの取り組み等、日頃の活動を具体的にご紹介いただきました。

意見交換会では、定例会の回数や広報誌を含めた情報共有の方法など各地区でどのようにしているか等意見を交わしました。「部会制だとテーマが絞られることで話がしやすそう」「新しい人財をどのように取り入れるかが課題」など、日頃の活動の課題等も一緒に話すことができました。

今後も社会福祉協議会では、地域で活動する皆さんが互いに関係づくりができる機会を設けることで、活動の後方支援をしていきます。

地域福祉ネットワーク協議会の役割

- ①横のつながり
(顔の見える関係づくり)
- ②情報共有
- ③情報発信(啓発)
- ④地域福祉活動計画の推進